

# 会 議 録

会議名	第4回木更津市吾妻公園文化芸術施設整備検討委員会		
開催日	令和6年10月29日(火)	場 所	駅前庁舎8階 防災室・会議室
時 間	午前10時00分～午前12時00分		
出席者	<p>委員：北野幸樹委員長、土田寛副委員長、山崎誠子委員、吉武美由紀委員、青木健委員、中原まどか委員、萩本亜矢委員、岩瀬弥生委員、渡辺則行委員、小高幸男委員</p> <p>事務局：企画部 安田次長          地域政策室 鈴木室長、宮澤室次長、鵜田係長、桑田副主幹、鈴木主任主事          株式会社日建設計 土屋氏、甚内氏、大場氏、犬塚氏、渡辺氏、西田氏          (吾妻公園文化芸術施設基本設計等業務受託者)</p>		
議 題	1 吾妻公園文化芸術施設基本設計の概要について		
公開・非公開の別	議題1 公開		
傍聴者数	8人		
配付資料	○会議次第 ○資料1 吾妻公園文化芸術施設基本設計 の概要について		
会議概要	別紙のとおり		

## 【会議の概要】

### ○事務局（宮澤室次長）

本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

会議に先立ち、事務局からお知らせいたします。

記録のため、録音、写真撮影をさせていただきますので、ご了承ください。

なお、発言される際は、マイクのボタンを押した上でご発言いただき、終わりましたら再度オフに切り替えていただくようお願いいたします。

また、本日の会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例の規定により、公開となっております。ここで会議の傍聴を希望される方がおりますので、ご入室頂きます。本日の傍聴人は8名となっております。

## 【傍聴人入場】

まず始めに、配布資料の確認をさせていただきます。

次第の裏面に配付資料一覧を記載させていただいておりますので、足りないものがございましたらお申し出ください。

よろしいでしょうか。

それではただいまより、第4回木更津市吾妻公園文化芸術施設整備検討委員会を開催いたします。

本日の司会進行を務めさせていただきます企画部地域政策室の宮澤でございます。よろしくお願いいたします。

ここで、会議の定足数についてご報告させていただきます。附属機関設置条例第6条第2項の規定によりまして、会議は委員の半数以上の出席がなければ開くことができないとなっておりますが、本日は10名の委員全員のご出席をいただいておりますので、委員会は成立することをご報告させていただきます。

なお、山崎委員におかれましては、オンラインでのご出席となります。

それでは初めに、北野委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。

北野委員長、よろしくお願いいたします。

### ○北野委員長

北野でございます。本日はお集まりいただきましてありがとうございます。

今日で第4回目の整備検討委員会でございます。これまでの流れの中で基本方針、概要がある程度まとまってきている中で、いよいよ実際の空間像、施設の利用形態、使われ方などが進んできている状況でございます。

今後のスケジュールも含めて、今日は大事なみなさまのご意見をいただく場と認識しております。是非忌憚のないご意見をいただきまして、更なる発展、よい施設となるようみなさまのご協力を願えればと思います。

本日はどうぞよろしくお願い致します。

### ○事務局（宮澤室次長）

ありがとうございました。それでは早速、議事に入りたいと思います。附属機関設置条例第6条第1項に、委員長が会議の議長となるとありますので、ここからの議事進行につきましては、北野委員長にお願いしたいと思います。北野委員長、よろしくお願いいたします。

### ○北野委員長

それでは早速ですが、議事に入らせて頂きたいと思います。なお、発言される場合は挙手にてお願いいたします。

本日の議題は1件となっております。議題1、「吾妻公園文化芸術施設基本設計の概要について」、事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局（鈴木室長）

吾妻公園文化芸術施設の基本設計につきましては、8月6日に開催いたしました第3回検討委員会において、受託候補者を選定いただいたところでございます。その後、8月28日に契約を締結し、基本設計の作成作業を進めてまいりました。

本日は、これまでの経過と、基本設計の概要についてご説明させていただきます。

詳細な説明は、株式会社日建設計より行わせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○日建設計（土屋氏）

おはようございます。日建設計 土屋と申します。本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

我々は2か月に渡り進めてまいりましたが、本日は中間報告をさせて頂きたいと思っております。私の方で30分ほどご説明させていただき、その後、よろしければ模型も見ながらお話させていただければと思っております。早速ご説明させていただきます。

【配布資料に基づき説明（日建設計（土屋氏））】

○日建設計（土屋氏）

以上でご説明は終わりますが、ご質問頂くか、一度模型を見ていただくかどうかどういたしましょうか。

○北野委員長

では、移動して模型を見ていただきましょうか。

【模型に基づき説明（日建設計（土屋氏））】

○北野委員長

多岐にわたりご説明いただいたところですが、まずは概略説明いただいた中で、何かご質問があればお受けいたします。いかがでしょうか。当初からの改善案ということで説明がありましたが、そちらが主になろうかと思っております。

○萩本委員

事務室に関する質問ですが、4階に置く予定の事務室を2階にした場合、広くしないといけないと思いますが、その場合どこに配置されるかを教えていただけますか。

○日建設計（土屋氏）

現在オレンジで塗られている箇所まで拡張させることも考えています。検討してご提案したいと思っております。

○萩本委員

市民目線でいうと、中高生の自習室が足りず、ファストフード店に行く、スパークルシティの自習室もあふれているなどという話も聞こえてきているので、できたら自習室を多めにさせていただきたいと思っております。

○日建設計（土屋氏）

自習室という名でなくとも、別の部屋でも使い方によってはそのように使える場所とするなど、市民目線で使いやすいものを今後提案していきたいと思っております。

○北野委員長

この施設に関しては、異なる機能を集約しながら管理していくという前提に立ったプランニング

が行われているということで、利用者側からすると自由度の高い利用形態があり、かつ、管理諸室を集約することによって、より効率的に管理運営者側としても管理しやすい、という説明だったと思います。

○中原委員

駐車場について、以前説明していただいたとおり、駐車場を広場より北にもっていくことで、色々なイベントができることがよくわかったので、いいことだと思います。建物下で駐車場がどれくらい確保できるかということと、駐車場から建物に行く際、何かで雨を防ぐことができるのでしょうか。

○日建設計（土屋氏）

建物下の台数について、今は約40台を想定していますが、最大限とれるよう検討します。ただし、現在の図書館の駐車場の台数は80台程度と聞いていますが、建物下だけでそこまで取ることは難しいと考えています。

また、庇のようなものをつくることも考えられますが、今回、一体の公園をつくるという大きなテーマに対し、庇が公園を分断する要素となることは避けたいと考えています。決して利便性をないがしろにするわけではありませんので、その中でどこまで対応していくかは、今後のご相談かと思えます。

○小高委員

駐車場関連で、現状の図書館では実質40台程度、公民館でもサークル利用などを考えて40台程度必要とすると、日常的には80台程度が近場にあるとよいですが、現計画では40台程度であふれるだろうと思います。ホールはイベント時が主と考えたとしても、日常利用の図書館や公民館の駐車場は、できれば近くに確保できればと思います。

○日建設計（土屋氏）

その台数の中には関係者の方も含まれていると思いますので、関係者の方には少し我慢をいただくなどで、少しでも利用者の方を優先に近くを使っていただいたり、できれば車で来て用を済ませ、すぐに帰るといった使い方は望んでおらず、こちらに長く滞在いただくような工夫をしたいと考えています。ここで半日過ごすのだから近くでなくとも、と思っただけだとよいと考えています。

○北野委員長

今の計画で、あおぞら広場から建物までの距離はどのくらいですか。

○日建設計（土屋氏）

60mくらいだと思います。

○北野委員長

僕の感覚だと60mくらい歩くことはなんでもないかなという感覚です。ただ、そのアプローチをどういう風に計画するか、建築をデザインする側では色々なことが考えられると思います。

ここでの議論としては、「近いから」「歩きやすいから」ではなく施設、公園全体のコンセプトとしてどうあるべきか、を考え具現化することが、これからの公共施設には必要ではないか、施設を心地よく使うためにはみんなが少しずつ我慢することも必要かと思えます。そのひと手間が愛着を育む施設につながるのではないかと思います。いろいろな広い観点から設計の答えを導き出して提案してほしいと思います。

○山崎委員

広場の考え方、広場が近くにあるべきかどうかについて、某アウトレットでは駐車場に緑がなく生物多様性や適正な日陰の演出がないことを問題だとみています。駐車場は放出する熱量が多く、建物への影響を踏まえると駐車場が施設に隣接しない方が望ましいと思います。ですので、広場を建物に

隣接させる提案に賛成です。

また、施設計画についてですが、他の施設を見ていると、吹抜けを設けて空調効率が下がったり、音環境が損なわれたり、運用コストが上がったりといった話を聞いたことがあります。まずは省エネの観点でも効果的な空調が実現できるようにしてほしいと思います。とはいえ、一概に吹抜けを設けるなどというわけではなく、コミュニティ形成のための大事な場所になるのであれば、必要と考えている自治体の例もやはりあると思います。また、同じように省エネの観点で考えると、事務機能の集約は大変望ましい姿だと思います。

最後に、他施設で図書館の方へのヒアリングが遅かったという話を聞いたことがありますが、本計画ではすでに図書館、公民館と密に連携しているとうかがっています。ぜひその姿勢を継続してほしいと思います。

#### ○北野委員長

山崎委員の発言を踏まえて現計画をみると、アクティブゾーンとサイレントゾーンに分けられていて、サイレントゾーンは構造的にも設備的にも抑え気味の計画としている一方、アクティブゾーンという部分に限ってスキップフロアの計画として、人々の集い交流する場を効果的に、メリハリ分けて計画している。アクティブゾーンはコミュニティ形成の観点でも大事な場所になると思います。

一点言うとならば、公園全体に関わる考え方の提示や説明がないのが残念です。全方向裏ではない、かっこうの良い外観としてくれていますが、全体からこの建築を示さないとこの施設の良さも伝わらないと思います。

#### ○土田副委員長

公園の模型なしに建築の模型だけがあっても、どのような提案なのか理解しにくい。まちの中で、公園の中で、この施設がどうあるのか、人が主役の公園を作るうえでこの公園を、どういうふうによりニューアルするのか、というコンセプトを提示していただきたいです。

また、先ほどの駐車場の位置の議論に関連して、車が主要な交通手段であることは理解しつつも、本公園は気軽に立ち寄れる、そして散策してもらえるような公園を目指している。しかし駐車場がいっぱいあると、みな車で来てしまう。これからの高齢化社会の中で、車で移動ということだけではなく、雨が降ったら傘をさす、それが大変ならカッパを着て歩く、ということがあってもよいのではないかと思います。

自転車についても木更津市ではあまり使われないと聞きますが、健康の観点では国が推奨しているという背景もあります。こういった徒歩でのアクセス、自転車でのアクセスを重視して、どうゲートを作るかとか、どう市街地側との連続性を作るのか等を考えることが重要であり、さらにはバス停の位置などここに持っていきたいといった意図を土木側にアプローチして示し、場合によっては一部歩道を調整してでも道路に面しバス停を作る、といったような工夫ができることよいのではないかと、それが市街地の連続、公園の中のサーキュレーション、ひいては地域の施設の利用率の向上につながってくると考えます。そのような意味で、公園の全体のコンセプトがあって、施設との連続性をどう作るか、という説明が必要と考えています。

次に文化芸術施設について、GLレベルの東側と西側のファサードが少し冷たい印象があります。東側のスタジオあたりは公園幅も狭いため、なんらか改善できればと思っています。また、お金の問題は理解しつつも、公園全体でアンジュレーションを設けられるとよいなと思っています。

最後に一点だけ、プランの中の共用部について、もう少し広場と融合したり、施設間のある種の有機的な連携を作るような仕掛けの空間となれるとよいなと思っています。管理諸室の集約の話も含めて、市民側の愛着に繋がるような空間計画を考えると、もう一歩何かできないかなど。公園の中をいかに楽しく散策して、人々が日常的にどう楽しんで、という想定の中で、この文化芸術施設自体が核的な、革新的建築的機能となるような流れがあるとよいと思います。

#### ○北野委員長

土田委員と同意見で、建物の東側が一番の問題と考えており、ここが解消されればとても素敵になるとしています。また、用途別の色分けについて、タグ等で職員の居場所等細かく管理できてしま

う時代に、機能分化させるのは疑問です。今、共用部となっている空間が、おそらく今回の複合施設を作る上で一番大事なところで、ここが何なのかという答えを示せると、新しい複合的な公共施設を木更津市さんがつくられたという答えになるのだらうと思います。

○中原委員

運営についてお伺いしたく、全て複合施設でできるようにするという事は、公民館も図書館もホールも、市の方で運営として全部分かる人が一括して行うということでしょうか。

例えば、職員さんに公民館のことを尋ねると、分からないので違う場所に案内されることがあると思うのですが、これが生じないように市の中ではみな全部分かるようにしておくという前提なのでしょうか。

○小高委員

図書館、公民館、ホールの専門がいるので、公民館のことを聞くには公民館の人に、図書館のことは図書館の人に聞く、ということ想定しています。ただ、一つの施設なのでそれぞれ事務スペースを分けるのではなく、みな一つのところで仕事をする、そして受付機能も一か所に集約する、というあり方を想定しています。ワンストップとは、一か所メインとなる受付に行けば、公民館、図書館、ホールのどの用事がその一か所で済む、ということで、もちろん図書館であれば郷土資料室や精通した職員の配置が必要などころもあるとは思いますが、利用する方は都度違うところに行かず、一つのところで済ませた方がいいのではという考えです。

○岩瀬委員

横断的な利用を想定していくと、今日、会議室が空いてるから自習室として使おうだとか、自習室は必要のない時期だから、会議室とかイベントスペースに使おう、みたいな利用が理想的だと思います。ただ、それを管理する人が誰になるのかが見えてこないです。

○北野委員長

運用の話にはなりますが、それにはおそらくシステム導入が必要で、そもそも市として施設全体を管理するもう一部隊が必要になると思います。その中で図書館、公民館って運営する方がいるというイメージをしています。

○岩瀬委員

今その部隊はあるのでしょうか。もしないのであれば今から一緒にやっていった方がいいと思います。できてからでは遅いのではと思います。

○北野委員長

そう思います。おそらく木更津市さんとしても市民の方々と一緒に成長をされていて、運営の在り方について検討をされているところだと思います。木更津市のみなさんにぜひお願いしたいと思います。

○小高委員

大屋根広場の災害時の活用について、万が一非常事態があったときに、できるだけこの大屋根広場が避難スペースとして使えると望ましく、その後の動きも考えると災害救助車などが上がるようなアプローチの検討やそういった車両の耐荷重を見ておくといったことができればと思います。

○日建設計（土屋氏）

大屋根広場への車両動線は南側に想定し、軽自動車程度の対応を考えています。災害時以外にもキッチンカー等が入って来られれば使い方の幅が広がると考えています。

○北野委員長

複合施設、公共施設は往々にして、いわゆる受付のところが貧弱だというのが僕の認識です。せっかく大きな施設だけれども、受付部分はわずかで、相談ごとの内容によってはあちこちにたらいまわしにされてしまうところがあります。そんな他のところでは縦割りとなってしまうところを、ワンストップで実現しようという方向でこの施設計画はなされているので、かなり利用者目線で使いやすい施設になると思います。

○日建設計（土屋氏）

先ほどおっしゃっていた予約のシステムなども、今後、導入が考えられると思いますので、図書館、公民館で今は別となっていると思われるネットワークが統合されれば、部屋ごとに番号が、さらには席ごとに番号がふられ、それをWeb上で予約できるような仕組みにできるのではと考えております。

○萩本委員

今9時から自習室を使うのに、8時半から並んで番号取って、それでも入れないという人がいます。

○日建設計（土屋氏）

昨今では時間ごとに管理されている施設もあり、そういった方にとっても便利になると思います。

○土田副委員長

駐車場階にあった機械室は何の機械室でしょうか。災害対策の観点で問題ないでしょうか？

○日建設計（土屋氏）

検討中ではございますが、空調機械室を想定しております。災害時には使用を期待されないものだけ1階に設けるようにしており、それ以外は屋上階に設けております。

○土田副委員長

非常電源やジェネレーターはどこにありますでしょうか？

○日建設計（土屋氏）

非常電源、ジェネレーターは屋上の機械室に現状配置しております。今のところ屋上に多くの機械が並んでしまっているので、一部は1階等に設けられないか検討しております。

○北野委員長

1階部分の機械室のボリュームは抑えられないでしょうか。

○日建設計（土屋氏）

室外機等、部屋とする必要のないものもありますので、今後精査いたします。

○北野委員長

いろいろなご意見をいただきました。皆さんすごい熱を持ってこの委員会に参加いただいているので、忌憚のないご意見をいただければと思います、このような形とさせていただきます。本日の議論を受け、また設計者の方で検討を進めていただく形になるかと思いますが、何か言い残したことはございませんでしょうか。

○土田副委員長

これは木更津市さんにお伺いする話かもしれませんが、公園と歩道間のフェンスについてどのようにしますか。市街地と接続させるという話を先ほどしましたけれども、県道側には防護柵がないため、子供の飛び出しも含めて、少し危険かなと思っており、とはいえフェンスを設けるとやはり明

らかに分断の要素となってしまう。設計の方でその境界部のデザイン、市街地との接続を作りつつ、安全性も担保しつつ、加えて東側の奥行の確保と作り込みをしていただけるとよいなと思います。木更津市としてはフェンスを設けない想定でしょうか。

○事務局（鵜田係長）

今のところそういったフェンスはなくしていきたいと考えておりますが、おっしゃる通り子供の飛び出しの可能性もありますので、日建設計さんと相談して進めたいと考えております。

○土田副委員長

市役所から県道の改修を要請するというのも投げかけてみてはと思います。歩道も綺麗になりつつ、安全性の確保も道路側で対応できるかもしれないので、ぜひご検討ください。

○北野委員長

県道改修要請、ぜひお願いいたします。ではその他、よろしいでしょうか。

次回も期待をしております。本日はいろいろと皆さんご意見いただきましてありがとうございます。それから日建設計さんも丁寧なご説明、熱のあるご説明いただきましてありがとうございました。

以上で今日の議事としては終了させていただきたいと思います。全ての皆さんにお礼を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。

○事務局（宮澤室次長）

北野委員長、ありがとうございます。

委員の皆様におかれましても、長時間のご質疑ありがとうございます。

最後に、基本設計に関する今後のスケジュールについてご報告させていただきます。

まず、12月の市議会定例会において、あらためて基本設計に関する中間説明をさせていただく予定です。

その後、1月頃に第5回を開催し、中間報告（案）について、ご審議いただければと考えております。

また、住民説明会等で広く市民の皆様からの意見を頂戴したのち、最終的に3月頃に第6回の検討委員会を開催し、基本設計（案）についてご審議いただく予定でございます。

詳細な日程につきましては、あらためてご連絡させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、第4回木更津市吾妻公園文化芸術施設整備検討委員会を終了させていただきます。

本日はありがとうございました。

第4回吾妻公園文化芸術施設整備検討委員会の内容について、上記のとおり確認する。

令和6年11月29日

木更津市吾妻公園文化芸術施設整備検討委員会委員長 北野 幸樹